

お礼の言葉

福岡県共同募金会久留米市支会

会長 井手 和 英



平成29年度共同募金運動は、「赤い羽根つなぐ地域と笑顔の輪」：赤い羽根共同募金のキャッチフレーズのもと、平成29年10月1日から12月31日まで募金運動を展開いたしました。

市民の皆さまには、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、共同募金運動を取り巻く環境は依然厳しい中、平成29年度も、赤い羽根共同募金5718万9319円、歳末たすけあい募金1545万1888円、合計7264万1207円という多額の募金をいただきました。

この貴重な募金は、配分審査委員会等の意見をふまえ、福祉施設や福祉団体、校区社会福祉協議会の地域福祉活動の支援など、有意義に活用いたします。

最後に、募金活動にご協力いただきましたすべての関係者の皆さまに対し、心より深く感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

ありがとうメッセージ

共同募金の補助を受けた団体から、募金をしていただいた皆さまに、感謝の気持ちを伝えるメッセージが届きました。

筑後地区療育システム協議会

本会の連携推進事業(基盤強化活動)へのご理解ご支援のもと、共同募金会から補助金を頂くことができました。ありがとうございました。

本会は筑後地区とその周辺地域の育児支援・療育業務に携わる人びとが相互理解を深め、連携を促し、風通しの良い地域システムに育てていくことを目的に活動しています。

過去2回、協議会の関係者により「療育^{*}マップ筑後」を発刊しましたが、「12年ぶりに療育マップの改訂版を作らなきゃ」という声が上がりました。市社協へ相談したところ、冊子作成のために共同募金からの補助を受けることが出来ました。

作成にあたり、医療・行政・福祉・教育の関係者が情報収集からまとめの執筆、内容の言葉の表現、一字一句みんなで顔を合わせて編集、監修して、発行することとなりました。内容は、施設の列記と地図配置だけではなく、療育関連の知識とシステムの理解に重きを置いたため、「療育マップ筑後」から「療育ガイドちくご」と誌名を変更しました。

この冊子を手にした人にとって、地域と繋がる一助になればと願っています。

※「療育」とは…ことばや身体機能など、発達の遅れのみられるお子さんについて、生活への不自由さをなくすようにトレーニング・教育を行なうこと。

